日本建設機械化協会

J. C. M. A.

建設の機械化

1987年1月号 No. 443

目　次

◆巻頭言　明日への展望……………………………………加　藤　三重次／1

◆21世紀の建設機械化………………………………………………………………／3

新しい生活空間“ニュートピア”の創成（多田和弘）／建設機械の自動化への期待（塩田雄三）／機械化の時代（中村雅彦）／昭和100年のダム施工機械（相原正之）／20××年建設工事現場見学記（鹿島建設機械部タイム・トラベラーズ）／6 to 7（宮崎裕道）／建設と建設機械の未来探検（小峯富夫）／建設現場の無人化施工をめざして（汐川　孝）／建設需要と技術開発（青柳隼夫）／近未来の建築現場（松下祐輔）／ソーラー破砕機（高津荘太）／超高齢国日本と最新技術（伊川悦男）／都市型建設機械の技術課題（高橋政広）／海底構造物の建設（斉藤弘一）／建設機械の無人化（草加浩平）／CONEXPO 2017 見聞記（畝村育成）／建設機械整備業――基本を学び，フレキシブルに対応できる人間になる（卯野伸一）／誰が果実を手にするのか（西尾公志）／流通の立場から見た業界近未来（上田隆幸）

全自動クラムシェル浚渫船の開発と施工実績………小池賢司・荒木宏／29

グラビヤ――京浜南運河可動橋梁工事

京浜南運河可動橋梁の施工……………………………林紀夫・鈴木正見・酒徳靖一／35

シールドセグメント組立ロボットの開発………………和　田　雅　史／42

移動式クレーンにおける つり荷自動水平移動装置の開発……………………杉本直樹・絹川秀樹／47

◆新工法紹介

シールド機位置姿勢管理システム／自動泥水シールド工法／気泡シールド工法……………調　査　部　会／51

◆新機種ニュース……………………………………………調　査　部　会／54

◆文 献 調 査

文献目録紹介……………………………………………文献調査委員会／57

◆ISO 規格紹介

土工機械に関する ISO 規格（19）-2………………………I　S　O　部　会／61

◆統　　計

建設投資推計ほか……………………………………………調　査　部　会／66

理事会の開催…………………………………………………………………………／67

行 事 一 覧…………………………………………………………………………／67

編 集 後 記……………………………………………………（本田・内山・森谷）／70

◀表紙写真説明▶

TCM R 250 形ロータリ除雪車

東洋運搬機株式会社

本機はロータリ除雪車の機種拡大の一環として250馬力級を開発，建設機械化研究所委託による性能，稼働試験を青森市にて実施し初期の性能，品質を確認したものである。

① 除雪装置：2ステージ形，リボンスクリュー式オーガ，4枚羽根遠心式ブロワ。特にオーガ径1,300 mmにより路肩高雪堤，春山除雪の雪壁の処理可能。ブロワケースは右40°，左65°回転，折たたみシュート360°旋回，伸縮とキャップ操作による投雪位置が自由に選択可能である。

② 車体：キャビンはフローティングキャブの採用で騒音振動が少ない。ブレーキは凍結防止のため全油圧式ディスクブレーキの採用。アーティキュレート機構による回転半径6.7 mと小回り。前後進の変換，変速は電気式操作装置4段変速。HST 駆動と効率的除雪作業が可能である。

③ エンジン：いすゞ 6RB1T，定格出力250 PS/1,800 rpm，最大トルク117 kgm/1,400 rpm と粘り強く耐久性に富んでいる。

＜主な仕様＞

最大除雪量	1,900 t/hr
最大除雪幅	2,600 mm
最大除雪高	1,650 mm
投雪距離	40 m
走行速度	0～40 km/hr
総重量（乗車定員3名）	14,135 kg